

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月15日

協議会名: 粟島浦村地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|-------|--|---|--|--|
| 粟島浦村 | 県道ルート | <p>【R6事業評価・改善点】</p> <p>・令和5年度に1か所屋根付きのバス停を設置したが、それ以外のバス停は雨風を凌げる場所がなく課題となっている。雨風よけの設置検討を継続する。</p> <p>→乗車人数の多い釜谷方面行の資料館バス停に、風雨よけのドアを設置し、利用者の待ち時間の負担軽減に努めた。</p> <p>【R6事業評価・改善点】</p> <p>・住民から要望のあった利用時間帯とバス停の移動に対して調査・検討し、引き続き利用しやすい環境整備に努める。</p> <p>→バス停の移動に対して調査・検討は実施できなかったが、利用時間帯に関しては、フェリーの発着時間に合わせ時刻表を変更した。</p> <p>【R6事業評価・改善点】</p> <p>・コミュニティバス事業継続の要望は高いため、より良い運用方法を村内の事業者(宿泊、観光、農水産業)及び生活者から要望を汲み上げ、対費用的にも適切な公共交通体制の再構築を検討する。</p> <p>→利用状況や課題に関するアンケート調査を実施した。その結果を基にどのような運用方法がより適切かを整理し、問題を改善する。</p> | B 概ね計画に位置づけられたとおり実施されたが、バス停の移動に対しての調査・検討については、令和8年度はアンケートで項目を設け実施する。 | B 住民利用は2,211人(1人あたりの利用回数は6.9回)となり、目標2,456人(1人当たりの利用回数7.7回)は達成できなかった。 運行予定(時刻表)と、希望利用時間帯とにズレが生じたのではないかと推測する。また、村人口の減少も要因と考えられる。 収入の目標600,000円以上に対して実績は659,750円、収支率の目標6.60%以上に対して6.40%であった。 収入の目標を達成したにも関わらず、収支率の目標が達成できなかったのは、人件費と燃料費の高騰により、歳出が目標より多かったためである。 | コミュニティバス事業継続の要望は高いため、より良い運用方法を村内の事業者(宿泊、観光、農水産業)及び利用者からの要望を汲み上げ、対費用的にも適切な公共交通体制の再構築を検討する。新しい試みとして、利用者の利便性の向上のため、顔認証による決済の導入を検討いたします。 |

| | | | | | | | |
|------|------------------|--|---|---------------------------|---|--|--|
| 粟島浦村 | 岩船港～村上まちなか乗合タクシー | <p>【R6事業評価・改善点】</p> <p>・乗降場所の移動に対して調査・検討し、引き続き利用しやすい環境整備に努める。</p> <p>→コミュニティバス事業と同様に、利用状況や課題に関するアンケート調査を実施した。その結果を基にどのような運用方法がより適切かを整理し、問題を改善する。</p> | A | 概ね計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B | <p>住民利用は1,547人(1人あたりの利用回数は4.8回)となり、目標1,626人(1人当たりの利用回数5.1回)は達成できなかった。</p> <p>運行予定(乗降場所)と希望乗降場所にズレが生じたのではないかと推測する。また、村人口の減少も考えられる。</p> <p>収入の目標1,390,000円以上に対して実績は1,134,750円、収支率の目標51.19%以上に対して45.1%であった。</p> | <p>各停留所の利用・設置状況などを調査・検討する。また、アンケートにおいて乗降場所の増設の要望があったので、増設を検討し、引き続き利用しやすい環境整備に努める。</p> <p>新しい試みとして、利用者の利便性の向上のため、顔認証による決済の導入を検討いたします。</p> |
|------|------------------|--|---|---------------------------|---|--|--|